

おやすみっていつて

君のほほに
君の眉根に
つめたくなった耳に
丸めた手のひら

かすかな吐息
わずかにふるえる
君の背中に宿る
君だけの不安

ふるい記憶はせめるの
なくした記憶はつるの
閉じた世界をあたたく濡らす
雨のように
海のように

おやすみっていつて
ぼくをずっと 好きでいて

二度と 消えない
決して 絶えない
ママの腕のなかで
さあ 瞳をとじて

君のくちびる
君の親指
やわらかな首すじに
顔をうずめ

たしかな不安
ここにもあるよ
君が閉じた瞳に
君を閉ざすこの瞳

ふるい記憶がとどまるの
なくした記憶におびえるの
閉じた世界をカブよく開く
風のように
光のように

おやすみっていつて
ぼくのこと 愛して

二度と 迷わない
決して 離さない
ママの腕のなかへ
いま 強くなれる